

宗次エンジェル基金による
日本演奏連盟正会員のための
公演活動支援事業

シューベルト
幻想曲 D940

シューベルト
アレグロ《人生の嵐》D947

シューベルト
ロンド D951

権代敦彦
ソナタ～男と女～
反対の一致
ピアノ連弾のための op.148 (2015委嘱作品)

杉山洋一
Diario 2010 (2010委嘱作品)

©Marco Borggreve

瀬尾久仁 &
加藤真一郎
ピアノデュオ

2026.3.11[水]
開演19:00 開場18:30

Ⓒ M U S I C A S A

全席自由

一般:4,000円 学生:2,000円

Vol.1.3
2028

composer

©Ayumi Kakamu



杉山洋一
| 作曲 |

©Michiharu Okubo



権代敦彦
| 作曲 |

チケット・お問い合わせ:東京コンサーツ

TEL 03-3200-9755

(平日 10:00-18:00)

Schubertiade 2028



瀬尾久仁 & 加藤真一郎 ピアノデュオ

桐朋学園大学ピアノ科に学ぶ瀬尾久仁と、作曲科に学ぶ加藤真一郎が在学中の1998年にピアノデュオを結成。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学マイスター課程ピアノデュオ科を修了。ピアノデュオとして初めて文化庁新進芸術家海外留学制度研修員に選ばれ、A・コンタルスキー教授のもとで研鑽を積む。最難関とされるマレイ・ドラノフ国際2台ピアノコンクールで日本人デュオ初の第1位、国際ピアノデュオコンクール(ポーランド)第1位及びショパン賞など、日本・海外の主要コンクールで数々の受賞。以来、国内外での演奏会・マスタークラスその他、協奏曲を東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団等と共演、北ドイツ放送、バイエルン放送、NHK「ベストオブクラシック」「クラシック倶楽部」「ららら♪クラシック」等に放送出演。レコード芸術特選盤に選出されたCD「2 pianos」(FONTEC)、監修・作曲を行った楽譜「やさしい2台ピアノ曲集」(音楽之友社)が現在発売中。2024年にはロストック音楽大学ピアノデュオ科に招待され公開レッスンと演奏を行ったほか、コンクールの審査・セミナー、国立音楽大学でのピアノデュオ・マスタークラス、加藤は桐朋学園大学作曲科准教授及び国立音楽大学ピアノ科非常勤講師として後進の指導にあっている。
www.seokato.com

©Marco Borggreve

©Ayumi Kakamu



杉山 洋一 | 作曲 |

1969年東京生まれ。3歳より篠崎管子、功子両氏にヴァイオリンを学び、後年三善晃氏に作曲を師事。桐朋学園大学では岡部守弘氏より指揮法を学ぶ。1995年伊政府給費奨学生として渡伊、フランコ・ドナトーニ、サンドロ・ゴルリのもとで作曲を、エミリオ・ポマリコのもとで指揮の研鑽を積む。NHK交響楽団、RAI国立交響楽団、アンサンブル・モデルン、クラングフォルム・ウィーンなど、国内外の主要なオーケストラやアンサンブルと多数共演し、2023年には指揮と作曲の両面での業績により斎藤秀雄メモリアル基金賞および芸術選奨文部科学大臣賞受賞。作曲家としても高い評価を受け、第13回佐治敬三賞、第2回一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。

©Michiharu Okubo



権代敦彦 | 作曲 |

メシヤンの音楽の影響で作曲とオルガンを始め、カトリックの洗礼を受ける。17歳で“Ave Maria” Op.1を作曲。長年、教会のオルガニストを務めた。「有限の生命・有限の音楽時間」における「死・終焉」と「永遠・無限」との関係性を創作の中心主題に据え、カトリック信仰に根差しつつも、様々な宗教を横断する独自の死生観・時空観による音楽の創作を試みている。オペラ、オラトリオ、管弦楽から独奏曲に至る様々な器楽曲、合唱曲、また古楽器、復元古代楽器を使ったものや、邦楽、雅楽、仏教声明に至るまで、あらゆる分野に及ぶ作品が200曲ほどある。2023年より、愛知室内オーケストラのコンポーザー・イン・レジデンスを務めている。